





眼目明鑑藥名修治能毒

○上卷

目錄

金石部

一 石膏

三 代赭

五 滑石

七 射香

九 明礬

十一 燒龍

十三 雀貝

二 明丹

四 爐岩

六 龍腦

八 真珠

十 蓬砂

十二 辰砂

十四 生腦



十五 鮑骨

十七 寒水

十九 龍石

廿一 貝齒

廿三 赤石

廿五 白龍

廿七 青藥

廿九 虎肉

卅一 雀子

卅三 黃丹

十六 白丁

十八 蒼石

二十 石决

廿二 天石

廿四 牡蛎

廿六 鱗血

廿八 角石

三十 白石

卅二 塩砂

卅四 石鍾

卅五 熊膽

卅七 草决

卅九 根石

卅一 冰銀

卅三 虎膽

卅五 石燕

卅七 硝石

卅九 金薄

卅六 牛黃

卅八 井石

卅十 丹礬

卅二 剛朱

卅四 輕粉

卅六 烏硝

卅八 蛤石

○下卷

目錄

州木部

一

香附

二

獨活

三

羌活

四

芍藥

五

地黃

六

當歸

七

川芎

八

人參

九

黃芩

十

白朮

十一

蒼朮

十一

甘草

十二

桂梗

十二

藿香

十三

白芷

十三

附風

十四

菊花

十四

薤白

十五

薄荷

十五

紫蘇

一

葛根

一

升麻

二

柴胡

二

前胡

三

黃芩

三

黃連

四

木香

四

牛膝

五

木通

五

藜蘆

六

大黃

六

桃仁

七

陳皮

七

肉桂

八

石斛

八

沉香

九

黃蘗

九

桑白

十

山梔

十

枳殼

本草綱目卷之五

一 蔓荊

一 茯苓

一 紅花

一 澤瀉

一 蘇木

一 半夏

眼目明鑑藥名修治能毒目録

眼目明鑑藥名修治能毒卷上

○金石部

一 石膏 細理 美石 志羅伊

志日本ニモ太宰府ニアリ白ク

美キヲ唯トス 燒テ黃連ノ汁

ニ浸シ使フ 血ヲ定血肉ヲ

眼ヲ冷シヨク波ヲ止ル也 疼眼

熱眼ニ用之冷眼ノ眼色變ニハ

用ユベカラス 惡シ

二 明丹 光明丹ノ一也 水飛ノ

上ニ浮フ物ヲ滴ステ、目ニ乾

カシ末ノ使フ 融液ヲ止眼ヲ

寒シ血肉ヲ除キ翳膜ヲ去汚ヲ

澄ス藥ナリ眼性靈弱ニメ淚ヲ

キニハ用ユベカラス

三 伐椿石 異 須丸 血師 土

鐵朱 波仁 伊志 雞冠ノ如ナル

ヲ食トス 研水 丸ノ使フ

眼ノ障ヲ除キ内障 痛目ヲ治ス

四 爐岩石 異 爐先生 拍碎キ土

器ニイレ 上ヲ塗炭火ノ中へ投

ノ是ヲ燒テ夏ハ二時餘ノ季ハ

一時或ハ半時練藥ノ時ハア

ヲ使フ掛藥ノ時ハ心句ト云フ

使フ予家ノ傳ニハ燒テ推テ

連ノ黄シ湯ニ浸シ一宿ヲ經テ

月ニ乾シ末ノ使之 一切ノ弱

曠ヲ除キ眼ノ濁ヲ澄シ星外障

中障ヲ玄滿眼ノ障 破ヲ除クニ

五 瀉石 異 畫石 液石 筒石

曉石 冷石 番石 共石

遠武志 屋父ト云リ 日本紀伊

ノ国ニアリ 椽ニ時ナシ 大山ノ

陰谷ニアリイカニモ白ク水ノ

如ナルヲ佳トス 搗末ノ水飛

メ用之 余ガ傳ニハ 檜葉ト黃連

トヲ煎ジテ是ヲ浸シ一宿ヲ經

テ明内トトリ出シ月ニ乾シ末

使之 血多キ眼ノ熱スルヲ冷

シ外障ヲ去星ヲ除キ血ノ道

紅シ眼ヲ軟ケ痰ヲ澄ス 若寒

灰色ニ燒テ奉ラ使フ
熱ヲ除キ内障及ビ腫子黒眼
青蒼ヲ治シ星外障膜等ヲ排
底ヲ澄シ其外疤痕目赤目篠推
目ノ諸眼ヲ治ス

石

白礬 潤石 羽涅 羽澤

去モ皆白礬ト云ト同ジ日本ニ
ハ肥後飛彈ニアリ採ニ時ナ
燒テ使フ 翳膜ヲ截血ヲ除

キ外障目茸目瘡目等ノ症ニ
使之癩肉ヲヨク除ク又眼性虛
弱腫子總ニハ多ク用ユ可ス

干

蓬礬 明礬 盆砂 南寒

乃瀕邪久瀕里 水ニシメシテ

土需ニ入テ火ニテ燒ハサウノ

如ク煮アカル者也ソレシ汁ノ

ヒクホド燒ナリ 翳膜ヲ切

眼ヲ寒シ上氣膜血月眼腫テ開

難ク癩肉出テ目ニ向テ眼穿キ

難ク眼液等ノ満証ヲ治ス

玉

燒礬 塩砂也 製法見下

字知乃阿加伊志 常ニハ朱砂

ト云長壽ノ辰州ノ地ヨリ出ル

故辰砂トモイフ也

キ水飛ノ使フ 血月上氣

熱目ヲ治シ惡血ヲ除キ翳膜ヲ

截血ヲ行シ膿ヲ寒ス茶ナリ
多ク用ユレハ惡血ヲ凝堅ニ
メアシ

三十

雀貝 スバメノ靦ナリ春トリ
テ枚ノ上ニテこしキ皮ノ雜ス
ヤウニ枚ニ粘ノ目ニ乾シコソ
ケトリ紙ニ包ミ再ビ目ニ乾シ
少シ焙テ使フ 眼性ヲ強ク
ラシメ疼ヲ止瘻疹目外障中房
内障眼沾ナキ等ニヨシ諸眼ノ
血ヲ去茶ナリ

四十

生腦 又樟腦トモ書ナリ
韶腦 久海乃幾乃也仁
天目ニハテ又天目ヲ蓋ニ合

五十

セメヲ紙ニテ張テ息ノ出ヌマ
ウニメ燻火ノ上ニ乾ク置バ煙
ニ成テ上ノ天目ニ白ク取付
ルヲ用ユ下ノ天目ニハ砂石
ルモノ也捨ベシ右ノ如ク燒上
七度ニ及ブベシ 霞ヲ洞ニ
シ膜ヲ削リ外障ヲ除キ眼熱ヲ
醒シ爛ヲ痊シ諸茶ヲ引テ眼中
ヲ回リヨク血ヲ除キ去茶也
眼性弱メ位多ハアシ、
蛇骨 酢ニ浸シ一宿經テ目
ニ乾シスリ末メ再ビ水飛シ
ニ乾シ使フ師曰燒テ末メ水
ノ使フ 星ヲ除キ膜ヲ去

外瘡ヲ彫リ眼性ヲ強カラシ
 濁ヲ澄シ牡蠣角石ト調合ノ
 屋ヲ除キ厚薄ノ外瘡ヲ去
 白下香 雄雀屎 青丹
 雀蘇 蘇乃久曾 春
 ノ比雀ノ屎ヲトリ黒キ所ヲ去
 白キ所ヲ取テ多飛メ日ニ乾シ
 研テ使フ 眼性ヲ振養ヒ
 ノ瘡癩瘡月目瘡等ヲ治シ眼ヲ
 劑ニシ霞ヲ除キ濁ヲ清ス目瘡
 ヲ治スルニハ辰砂ト合用ス
 寒水石 凝水石 白水石
 凌水石 塩精石 沉精
 塩枕 塩根 古於利伊志

志於乃加多末利伊志 白ク
 スキ通タルヲ佳トス 治修 土器
 ニ入炭火ニテ焼ナリサテ末ノ
 水飛ノ使フ一説ニ酢ヲスリテ
 焼シモズリ方ニ依ヘシ石膏ノ
 異名ヲモ寒水石ト云フヨク分
 別スベシ本草時珍ガ説ニ詳也
 霞ヲ除キ血熱ヲ去惑血ヲ除
 白眼ノ障ヲ退ケ濁ヲ澄シ眼
 熱ヲ醒ス又寒風リ発タル眼
 ハ多ク用ヒ難シ
 搗碎キ水ニスリ立テイサセ
 宿ヲ經テ水ヲ捨テ母ニ乾ス

良目明監五上

能 極月 刺同ヲ 瘡シ 外瘡ヲ 除キ
瘡ヲ 止ホノ 拔カルニ 宜スレ
立ト コロニ 抜ル也

九十

龍石 修 少子 碎キ 研テ 水飛ノ
使フ 能 膜ヲ 甚星 外瘡ヲ 除キ

汚リヲ 澄シ 眼ヲ 清ス

十三

神 九孔 螺 殼 名 子 里

光 阿 和 比 如何ニ 元古

ヲ 鹿皮ヲ 去 白色ニ ナル 程ヤキ

末ノ 水飛シ 目ニ 使フ 能 翳

膜ヲ 切 星 外瘡ヲ 去 濁ヲ 止 患 血

ヲ 去 瘡ノ 濁ヲ 澄シ 眼ヲ 明ニシ

眼性ヲ 益ス

一五

貝石 古 屋 須 加 伊

曾久 加 以 屋 宇 加 伊 土

器ニ 入 燒テ 火 毒ヲ 去 末ノ 水飛

シ 鏡ヲ 血ヲ 定メ 血ヲ 導キ 膜

ヲ 切 外瘡ヲ 除キ 底ヲ 澄シ 霞ヲ

晴シ 眼ヲ 朗シ 内瘡ヲ 清シ 眼性

二六

天石 腦 蓋 骨 仙人 蓋 額

顛骨 志也 禮加 字 倍 如

荷ニ モ 古キヲ 採テ 火ニ クベ 燒

研テ 再ヒ 土器ニ テ 燒ベシ 藥ノ

搗汁ヲ 入テ 燒テ ヨシサテ 水飛

ノ 目ニ 乾シ 末ノ 使フ 一説ニ 云

燒サレ 額ノ 成ホド 融レヤレ 研

ル 額ノ 亦 尤効多シ 製法上ニ 同

外瘡ヲ去翳膜ヲ伐内瘡ヲ
去肉ヲ去眼勢ヲ益愈ヲ澄入

赤石脂

唐ヨリ来ルハ患レ

日本ニ川蝮トテ川ニアリ

肉ヲ去貝ヲ酢ニ浸シ焼又酢ニ

浸シ再ヒ白ク成ホド焼ベシ

外瘡ヲ除キ膜ヲ切ヨク瘡ノ

濁ヲ澄シ内瘡ヲ治ス

牡蛎 牡蛤 蠣蛤 古貴瘰

加幾 如何ニモ古キ殼也

炭火ニクベ焼ソノ後小使ニ浸

シ再ヒ焼水飛シ目ニ乾シ来ソ

使フ 欲星外瘡ヲ除キ翳膜

ヲ去星崩目瘡ヲ痊ス

白龍 鱧 鱈 鱉 鱉 鱉 鱉

乾者名蠶 骨名海螵蛸

如何ニモ古キヲ

水飛ノ使フ外ノ堅キ皮ヲ去肉

ノヤワラカナルヲ使フ又焼テ

使フ一モアリ 能ヨク白翳ヲ

去膜ヲ切努肉ヲ去惡血ヲ除キ

眼性ヲ燥ヒ眼玉ヲ澄シ外瘡星

ヲ避洞ヲ止

煉血 月ノ葦毛馬ノ血

ナリ又唐ヨリ来ハ木ノ脂ナリ

ト云澆アリ 研テ粉ト成テ

後與茶ト合ス 善衆茶ト合テ研

ハ飛モノナリ 能死月ヲ愈

刺月ヲ治シ内瘻ヲ除キ赤血
澄ス若患血多ニ用ユレハ血ヲ
堅テ思シ

青葉 緑青ナリ銅ニ酢ヲ塗
テ少シ塩ヲ置ハ緑青出ルナリ

水飛 ヲ使フ 爛ヲ瘡シ痛
ヲ柔ケ眼勢ヲ攝養シ若眼瘡眼
ニ專ラ用ユ

鹿落 志加乃毛
豆乃 白クナル程ヤキ黄連

ノ煎ジ湯ニ浸シ再ビ燒白ク成
ヲ以テ度トス末ノ水飛ノ使フ
星外瘻ヲ却ケ眼瘻ノ濁ヲ除
キ内瘻ヲ避月瘻ヲ愈シ瘡疹同

ヲ治シ月瘻ヲ瘡ス若眼性弱キ
ニ是ヲ用ユレハ弥眼目ヲ損不
虎肉 唐ノ虎ノ肉ナリ木賊

ニテヲロシ使フ也 能星外瘻
ヲ腐シ努肉赤膜ヲ去眼ヲ朗カ
ニシ眼玉ヲ養フ

白石脂 志加乃ノ久踏豆乃
五六月ニトリ毛ヲ去テ火ニ

クベ白ク成ホド燒黄連ノ湯ニ
浸シ其後末ノ再ヒ水飛ノ使フ
ノ使フ 外瘻星ヲ除キ眼瘻

ヲ軟ケ眼性ヲ朗カニシ膜ヲ切
雀子 瀆ヲ養ノ未タ毛ノ生
セサル時トリテ扱ノ上ニテ扱

殺スリスリ筋骨ヲサケ目
ホシ少レ焙テ使フ
治シ瘡疹月ヲ瘡シ海眼ヲ治シ
疼痛眼泣多目ヲ治シ血ヲ去冷
眼ヲ温メ外瘡肉瘡ヲ避刺目打
目ノ内瘡ニ及ヲ治ス

三九

塩礞 煖消ノ一也 燒龍腦トモ

消 地霜 生消 北帝玄珠

志於乃 裕利伊志 山ナドノ

治ホヲ多ク燒タル爐ノ釜ノ濕

氣アル靈ニアルトナリ

スレハ塩ノ如クカタテル故ニ

塩礞ト各ツクツレシ再ビ土器

ニ入炭火ノ上ニテワロクト燒

ハ膏トナル火氣ヲ去ハヌホノ

如シ是ヲ使フナリ燒トキモレ

中エ火トヒ入ハ塩礞三十飛モ

ノ也 瘡肉ヲ治シ爛シ瘡シ

瘡月ヲ治シ外瘡星ヲ去白黒ノ

花散乱シ底濁シ澄ス疵月刺月

三九

弱月ニハ惡シ

黃丹 鉛丹 丹粉 朱粉

鉛華 打クタキ水飛ノ使フ

日ク膜肉ヲ去眼月ヲ清シ

星外瘡ヲ去翳ヲ除キ惡血ヲ避

蛎石ト合テ草藤子ノ油ヲ以テ

練之点スレハ膜外瘡速ニ腐也

四六 辟瘴乳 留公乳 鹿乳 鹿

石 鸞管石 夏石 黃石砂

名和 伊志乃知 日本ニモ佐州ニ在

ト云リ 濼制法多クレ水煎

夕 竹中水ニ浸シ洗テ水飛メ使

ヨク 眼ヲ明ニシ白翳ヲ去膜

ヲ切 冷眼ヲ温ム

五七 熊膽 各和 久末乃伊イワハ物

多ニ多クハ猿ノ胃ナリ水ニマ

ク 沃ヲ入テ熊ノ胃ヲ入テ見

ハ 熊ノ胃ナレハ水ヲハチキ能

テ 塵トナル偽物ハ不效

ノ 一使フ 難醫膜ヲ去小兒ノ

出 月滿眼ヲ治ス疾月久ク血去

ガ 夕クノ眼ヲ損スルニハ乳ニ

六八 和ノ良 目ノ良 融諸眼ヲ明ニス

中 實 互寶 宇志乃多末

日 本ニナシ 唐ヨリ来ルモノ也

或 説ニ唐ニテ人參ヲ牛ニ飼テ

ソノ 涎ヲ天月ヲ以テ承テカケ

テニ ントルト也 治 乳鉢ニテ

研テ 使フ 鉄氣ヲ忌モノ也 治 齒

星 外瘡ヲ除キ 眼性ヲ振養シ 翳

七九 曠ヲ去 芴肉ヲ切

草 决明子ナリ 治 涙多知

佐 介 焙テ末トス 炒サレハ

ク 夕ケス 能 ヨク 眼月ヲ和シ

惡 血ヲ去 膜翳ヲ切 芴肉ヲサリ

鹿ノ澄ス

八木

井石

井泉石云即チ鳥賊ノ

一ナリ白竜ノ下ニ製法ヲ記ス

九木

根石

葛根ノ一也 異 雞齊

鹿藿

黄斤 和 久豆 加豆

昔ノ根ヲ十日ニトリ搥ニテ

ウチ碎キ清水ニテ洗ハ布ヲ以

テ漉一宿ヲ經テイサセテ再ヒ

水飛スル一七度ニ及ビ白ク

キ通ラ度トス 能 ヨク眼ヲ赤

ケ惡血ヲ除キ眼ヲ清涼ニシ

十四

君石

銅華 立制石 伊志

ヲハラフ 石膽 黒石 墨石

乃伊 澄 青茶ニ和メ使フナリ

若率尔ニ眼中へ点スレバ育肉

トナルモノ也 能 ヨク眼ノ爛

ヲ瘥レ及ビ虫眼ヲ食テ眼痒治

十四

水銀

名 異 永頌 靈液 蛇女

名 和 美豆 加 称 日 本 二 八 伊 勢 ノ 母

十二

老明末

能 星 外 障 久 除 サ ル 治

能 眼 熱 シ 涼 シ 底 シ 澄 シ ヨク 泪

ヲ 止 眼 ノ 腫 脹 シ 治 ス 弱 小 等 ノ

洞 沾 ナ キ 眼 性 虚 置 膏 ノ 證 六 忌

十三

虎膽

名 和 登 羅 ノ 幾 毛 治 修 木 賊 二

テ フ ロ シ 使 フ 能 久 ク 眼 疾 シ

患 テ 眼 ツ カ レ タ ル フ 根 食 シ 膜

翳ヲサリ努肉ヲキリ眼目ヲ洞

ニシ黒眼ニ物出ルニヨシ

輕粉 水銀粉 汞粉 嶺粉

臧粉 灰志呂伊 波羅也

治修 土器ニ入ルシ焙テ使フ

星外瘡久シク除カサルヲ治ス

石炭 豆波久羅乃加伊吉

治修 復ノ土用ニ取テヒシギ田ニ

ホシ少シ焙テ使フ 星外瘡

久ク除カサルニ此石炭ヲツノ

テ、研テ眼中ニ係ルニ立ドコ

口ニ効ヲ得也 可秘トス

馬オ粉 治修 フノて、水飛ノ研

末ス 毒 眼熱ヲ凉シ爛目ヲ痊

し翳膜ヲ退ケ努肉ヲ去ホ必ノ

海目ヲ治ス

硝石 芒硝 朴消 消石朴

塩消 皮消 阿羅惠牟世

字 仁惠牟世字 日本ニハ若

狭嶺岐太宰府ニアリ 治修 燒テ

ホシ使フ 驗 ヨク血ヲサリ爛

ヲ痊シ翳ヲ洞ニシ眼ヲ清シ眼

熱ヲ凉ス

蛤石 蛤蚧 波磨久里カ伊

治修 如何ニモ古キ大ナルヲ火ニ

テ焚ホソ水飛ノ使フ 治修 打目

刺月並月ヲ治シ星外瘡ヲサリ

翳膜ヲキリ濁ヲ澄ス

良月并月...

金薄

治修

ソノ下ノ製茶ニ和ソ

使フトリ廻シワルケレバ爰彼

ニ塗付成ハマルコナリテ悪シ

ヨク眼ノ疾シヤメ眼熱シ醒

ス真珠散ニ加テ佳也

眼月鑑藥名修治融毒卷上畢

